

2019年度 従業員に対する年間教育計画

はメインテーマとし、重点的に指導・教育を実施する

項目	内容	実施予定											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
トラックを運転する場合の心構え	運送事業は、公共的な輸送事業であり、貨物を安全確実に輸送することが、社会的使命であることや、交通事故統計を活用し事故の影響の大きさを理解させる	●				●				●			
トラックの運行の安全を確保するために遵守すべき基本的事項	事業法に基づき、運転手が遵守すべき事項及び交通ルール等や、規定に基づく日常点検の実施及び適切な運転姿勢での運転の重要性を、それを怠った事による事故が発生した際に事業者及び運転者が受ける罰則、処分及び処置及び交通事故が加害者等に与える心理的影響を説明することにより確認させる		●		●			●				●	
トラックの構造上の特性	トラックの車高・視野・死角・内輪差及び制動距離等が他の車両と異なる事を理解させる			●			●				●		
貨物の正しい積載方法	編荷重が生じないような貨物の積載方法及び運搬中に荷崩れが生じないような貨物の固縛方法や、軸重違反を防止するための積載方法を理解させる				●				●			●	
過積載の危険性	過積載がトラックの制動距離や安定性等に与える影響や、法令に基づき荷主が遵守すべき事項、運転者等が受ける過積載に対する罰則、処分及び処置を理解させる	●				●							●
危険物を運搬する場合に留意すべき事項	危険物の性状とともに、取り扱い方法、積載方法、運搬方法の留意点について理解を深め、運搬中に危険物が飛散、漏洩した場合にどのような事故に繋がるかを理解させる。			●			●			●			
適切な運行の経路及びに当該経路における道路及び交通の状況	運送事業に係る主な道路及び交通の状況を把握させ、これらの状況を踏まえ、トラックを安全に運転するために留意すべき事項を指導する		●					●			●		
危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法	悪天候・内輪差・視界の制約等のトラックの運転に関して生じる様々な危険についての理解並びに、注意喚起方法として指差呼称及び安全呼称を活用する。降雪が運転に与える影響、緊急時における適切な対応を理解させる				●				●				●
運転者の運転適性に応じた安全運転	適性診断の結果に基づき、個々の運転者に自らの運転行動の特性を自覚させるよう努める	各自適正診断受診後1か月以内(過去の診断結果に基づき指導も実施する) 全体指導は11月(メインテーマ)に実施											
交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因及びこれらへの対処方法	過労及び飲酒等の生理的要因並びに慣れや運転技術への過信による集中力欠如等の心理的要因が交通事故を引き起こす恐れがあることを理解させる。また運転中に眠気や疲労を感じた時は運転を中止し、休憩または仮眠をとるよう指導し、医薬品等の使用による眠気及び飲酒の生理的要因による事故の可能性や、規定に基づき運転者の勤務時間及び乗務時間を定める場合の重要性を理解させる		●					●			●		
健康管理の重要性	疾病が交通事故の要因となる恐れがある事を理解させ、適正な健康管理を行う事や、ストレスチェック等に基づき精神面の健康管理の重要性を理解させる	●		●			●		●		●		
安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法	安全性の向上を図るための装置を使用した場合の適切な運転方法を理解させる							●		●			●
疾病・過労に関する教育	疾病・過労等による、身体への影響及び運転に関する影響等を理解させ自らが健康管理を重要視し無理な運転等しないよう指導する	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●